

第17回

令和5年度 西尾市中学生

リーダー養成塾報告書

深めよう交流の輪 高めようリーダーの質
一步を踏み出し未来へはばたけ！



令和5年12月25日(月)～28日(木)
トヨタ白川郷自然学校

NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾
西尾市中学生リーダー養成塾実行委員会
西尾市教育委員会

第17回 令和5年度 西尾市中学生リーダー養成塾 報告書

《 目 次 》

《実行委員名簿》

利他の心とは「他人の喜びを自分の喜びとする」心	塾 長 (株式会社イナテック 代表取締役社長)	稲 垣 良 次	1
仲間を大切にし、自分なりのリーダーの姿に	団 長 (一色中学校 校長)	長 谷 栄 次	1
経験を糧に未来へはばたけ！	引 率 (一色中学校 教諭)	榊 原 貴 文	2
一歩を踏み出し	引 率 (一色中学校 教諭)	鈴 木 絢 子	2
これから始まる！旅の記憶の楽しみ	引 率 (株式会社オティックス)	小 田 井 利 樹	3
折れない心	引 率 (西尾市教育委員会学校教育課 指導主事)	加 藤 寛 之	3

《日 程 表》

4～13

リーダー養成塾で学んだこと	西尾中学校	14
自分のリーダー像に向かって	西尾中学校	15
リーダーとして学んだこと	西尾中学校	16
新しい気づき	西尾中学校	17
貴重な体験	鶴城中学校	18
リーダーになるために	鶴城中学校	19
リーダー養成塾で学んだこと	鶴城中学校	20
目標に向かって	鶴城中学校	21
リーダーとして大切なこと	平坂中学校	22
理想のリーダー像を探す	平坂中学校	23
自分を成長させてくれたリーダー養成塾	平坂中学校	24
自分を変える第一歩	平坂中学校	25
リーダーとして大事なこと	寺津中学校	26
リーダーについて学んだこと	寺津中学校	27
愛のあるリーダーとは	福地中学校	28
新しい考えを生み出す「安心感」の大切さ	福地中学校	29
リーダー養成塾を通して	東部中学校	30
リーダーの意味とは	東部中学校	31
自分の弱点を克服した4日間	一色中学校	32
リーダーとして	一色中学校	33
これからの自分	一色中学校	34
3泊4日の宝物	一色中学校	35
支えられるリーダー	吉良中学校	36
広い視野を持ちながら、自分を客観視する	吉良中学校	37
リーダーに必要なコミュニケーションの力	吉良中学校	38
リーダーに大切なことは、仲間から学ぶ	吉良中学校	39
4日間で学んだこと	幡豆中学校	40
私が変わったきっかけ	幡豆中学校	41
私が目指すリーダーの姿	佐久島しおさい学校	42

令和5年度西尾市中学生リーダー養成塾実行委員会

役職名	氏 名	備 考
顧 問	中村 健	西尾市長
委員長	稲垣 寿	西尾市教育委員会 教育長
委員(H18塾長)	小田井博茂	NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事長 (株) オティックス 代表取締役会長
委員(H21塾長)	杉田 明弘	NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾副理事長 (株) あいや 専務取締役
委員(H20塾長)	柴田 高広	NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事 柴田工業(株) 代表取締役社長
委員(H28塾長)	高須 光	NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾監事 高須会計事務所公認会計士・税理士
委員(H22、R5塾長)	稲垣 良次	(株) イナテック 代表取締役社長
委員(H25、R1塾長)	鳥山 欽示	(株) はと屋 代表取締役社長
委員(H24、R3塾長)	石川 哲朗	(株) 悠峰写真場 代表取締役
委員(H23、R4塾長)	小澤 育史	小沢歯科クリニック 顧問
委員(H27、29塾長)	山崎 克弥	山旺建設(株) 代表取締役社長
委員(H26、30塾長)	辻村 和敏	辻村工業(株) 代表取締役社長
委 員	杉浦 智芳	西尾市教育委員会 学校教育課長
委 員	三矢 克之	西尾市教育委員会 学校教育課主幹 (令和4年度団長)
引率者	長谷 栄次	一色中学校 校長
	榊原 貴文	一色中学校 教諭
	鈴木 絢子	一色中学校 教諭
事務局	小田井利樹	(株) オティックス 総務人事部
	加藤 寛之	西尾市教育委員会 学校教育課 指導主事

中学校担当者

西尾中学校	齊藤 泰之	東部中学校	伊澤 直人
鶴城中学校	日野 祐子	一色中学校	中村真由美
平坂中学校	福岡 博司	吉良中学校	高松 未来
寺津中学校	古崎 康之	幡豆中学校	松下 弘人
福地中学校	久永 浩俊	佐久島しおさい学校	清水 大有

利他の心とは「他人の喜びを自分の喜びとする」心

第 17 回 西尾市 中学生 リーダー 養成 塾 長
株式会社イナテック 代表取締役社長 稲垣 良次

第 17 回中学生リーダー養成塾に参加していただき大変ありがとうございました。

ここで「開塾の理念と目的」をもう一度確認しておきます。“開塾の理念”は、急速な国際化と先行き不透明な時代において、国の将来を創造できるリーダーを育成すること。そして“開塾の目的”は、リーダーを志す市内中学生が「目的のために、責任ある決断をし、人をまとめ引っ張っていく力」を養うことです。

トヨタ白川郷自然学校のフロントに豊田章一郎様書かれた『共生』という書が掲げられています。おそらく豊田章一郎様は「これからの若者は世の中を宇宙や地球で物事を考え、『自然も含めともに生きる』を考えて下さい」ということを示されたと考えます。

つまり、自分一人では生きていくことはできない。自然や周りの人のおかげで生かされている。つまり利他の心が必要なわけです。利他の心とは「他人の喜びを自分の喜びとする」心です。自分のことだけを考えるのではなく、相手の人を助けてあげたりすることです。相手の人に親切にしてあげた度合いに応じて、その愛は自分に返ってきます。そして自分を幸せにしてくれるのです。今日ここに出席している皆さんは、そんな“美しい心”を持ったリーダーになって下さい。それが私達の願いです。ありがとうございました。

仲間を大切にし、自分なりのリーダーの姿に

団長 一色中学校長 長谷 栄次

今年度も西尾市リーダー養成塾実行委員会の方々のご尽力により、17回目のリーダー養成塾を実施することができました。関係の皆様方に心より感謝申し上げます。各中学校から選出されたリーダーたちが、自分自身を見つめ直し、自分のもっている良さを再確認し、そして自分に足りないものは何なのかを、友達との交流やプログラムの体験を通して学ぶことができたと思います。西尾の宝である29名の塾生は、確実に成長し、今後は各中学校に戻り、今回の学びを生かしてさらにリーダー性を発揮してってくれるものと思っています。今年度は各自が事前研修の段階からiPadを活用し、ズーム会議や資料集めを積極的に行いました。そのことにより、全員が集まった研修会の回数は変わりませんが、例年以上に仲良くなった状態で当日を迎えました。また、バスや食事の座席などをその都度自分たちでくじ引きにし、常にいろんな友達と会話ができるようにしていました。4日目の様子を見ると、誰ともなく楽しそうに会話をしている姿があり、1つの学級が出来上がったようでした。帰りのバスの中である塾生が「みんなが頑張っている姿を見て、私自身頑張ることができた」と言っていました。率直な気持ちだったと思います。リーダーはやはり仲間の存在があって成り立つものであると実感しました。

経験を糧に未来へはばたけ！

引率 一色中学校教諭 榊原 貴文

今年度のリーダー養成塾は、i P a dを用いたオンライン会議や、プロモーションビデオ（P V）作りなど、養成塾の活動としては初めての取り組みが多くありました。塾生のみなさんはi P a dを常日頃から使い慣れていることもあり、どんなことにも臨機応変に対応していました。また、事前研修会では、「深めよう交流の輪 高めようリーダーの質 一步を踏み出し未来へはばたけ！」のスローガンのもと、西尾市を紹介するP Vのテーマ決めのために、活発な意見交換が行われました。さらに、P V作りでは、テーマごとにチームを作り、事前に現地へ行き取材を行ったり、資料となる写真を撮りに行ったりして、より良いものを作ろうと取り組む姿からは、リーダーとしての頼もしさを感じました。

「リーダーに必要なものとは何か」を追求していく4日間。その問いに対して、自分なりの答えを見つけようと活動することができました。今回の貴重な経験が、みなさんの今後の活躍の礎になっていくことを心から願います。

一步を踏み出して

引率 一色中学校教諭 鈴木 絢子

初めてこのメンバーが集まった結団式。緊張しながらも期待に胸をふくらませ、きらきらと目を輝かせていました。今年度のスローガンは「深めよう交流の輪 高めようリーダーの質 一步を踏み出し未来へはばたけ！」に決まりました。プログラムが始まって、最初はうまくいかないと感じることもあったと思います。思うように意見が言えなかったり、意見がぶつかってしまったりすることもありました。しかし、「相互理解の深化」で勇気を出して意見を出してみようとする姿、「イグルー作り」で役割を分担し、仲間と助け合いながら工夫する姿、「P V作り」で自分の意見を通そうとするのではなく、仲間の意見を尊重しながら話し合いを進めていく姿がありました。それぞれがスローガンにあるように、勇気を出して一步を踏み出したからこそ、リーダーとしての質を高め、仲間との交流の輪を深めていくことができました。4日間の最後に完成したP Vをみんなで見ました。その時の達成感にあふれた表情、仲間のP Vをあたたかい笑顔で見る表情を見て、とてもうれしくなりました。この経験を生かし、リーダーとしてみなさんが活躍していくことを期待しています。

これから始まる！旅の記憶の楽しみ

事務局 株式会社オティックス 小田井 利樹

旅には①準備する楽しみ、②旅そのものの楽しみ、③旅の記憶の楽しみの3つの楽しみがあると言われます。「旅」はもちろん今回の「西尾市中学生リーダー養成塾」です。①と②の楽しみは既に終わりましたが、③の「旅の記憶を楽しむ」はこれからが本番です！

リーダーを目指しあう仲間と話し合い、自然学校の先生に説明し、指摘されたことを改善しながら、チームで西尾のPVを創り上げたことなど思い出してください。あるいは2チームに分かれてのイグルーづくり。目標達成に向け自然発生的にリーダーになった人達、チームのためにそのリーダーを助ける別の大勢のリーダー達。そして、みんなでとても短い時間内にイグルーを完成させ、目標達成したことを！

そしてそれらの思い出が皆さんにとってもっと素敵な「記憶」に成長するように、学校で、家庭で更に磨き続けていただけたらと思います。事務局として同行させていただいた私も、そんな皆さんの姿を見てとっても幸せな気持ちになることができましたし、皆さんの成長する姿を想像したら嬉しくなりました。「西尾はこれからも！楽しみだな」って。

最後に、子ども達のために一生懸命頑張られた長谷団長はじめとする引率者の先生たち、西尾市中学生リーダー養成塾を支えてくださった全ての皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

折れない心

事務局 学校教育課 加藤 寛之

新型コロナウイルス感染症対策のため、食事中の会話すらも制限され、人との距離感をはかることが、大人でも難しくなってしまった3年間。そんな3年間で、皆さんはリーダーとしての活躍が期待されていた小学校4年生から6年生という時期に過ごしました。やりたくてもやれない我慢の3年間だったと思います。

リーダー養成中の4日間、今までの思いを開放するかのように、カメラのファインダーから見た皆さんの顔は、どの場面を切り取っても、実に真剣な、楽しそうな表情ばかりでした。そして、この報告書からは、皆さんが、研修中の体験をみずみずしい心で受け止め、凄まじい勢いで自分の成長につなげようとしていたことが、よく伝わってきました。

真剣で楽しそうな表情、そして凄まじい成長は、我慢の3年間があったからこそ、渴望されていたからこそだと思います。コロナ禍や研修中にも経験したように、思い通りにならないことはこれからもたくさんあるでしょう。そんな時は大切な充電期間なのだと自分に言い聞かせ、やがて必ず来るチャンスに備え、思いを高め作戦を立てておいてください。

私が思うリーダーに必要な大切な資質の一つは、ピンチに強いこと、折れない心、うまくいかないことすら自分のエネルギーに変えてしまう前向きな気持ちだと思います。

皆さんの活躍をこれからも応援しています。

日程：1日目

2023. 12. 25<月>

時刻	活 動 内 容	備 考
7:40	※ 集合前に家で検温、健康チェックカード Google Forms。	
7:50	○ 集合・点呼 ※乗車前健康観察（鈴木）	
	○ 出発式	
	司会（榊原） 1 団長あいさつ（一色中 長谷校長） 2 塾生代表出発のことば	- 欠席連絡は7:00-7:20 - 市役所北駐車場（荒天時：多目的室） 7:20より前に来ない。 - 服装は、各校の学校指定ジャージ。 - 防寒具着用可 - 集合しだい、出発式
8:00	○ バス乗車・出発	
	○ 鞍ヶ池PA トイレ休憩	
	○ ひるがの高原SA トイレ休憩	
11:40	○ トヨタ白川郷自然学校 到着	
	・ 荷物を2Fの催事ホールに置き、レストランへ集合。	交通事情により休憩、到着の時間は前後する。
12:00	○ 昼食	
	「いただきます」（101）	財布を預ける。
	「ごちそうさまでした」（101）	食事のあいさつは一言添える。
13:00	○ 開塾式	催事ホール
	司会（榊原） 1 始めのことば（榊原） 2 リーダー養成塾塾長あいさつ（稲垣 良次 塾長） 3 トヨタ白川郷自然学校代表あいさつ（山田 俊行先生） 4 リーダー養成塾実行委員長あいさつ（稲垣 寿委員長） 5 来賓紹介（加藤） 6 塾生代表決意のことば 7 インタープリター自己紹介	
14:00	○ 特別プログラム【リーダーのあり方について】	研修室
14:45	○ プログラム①	
	【相互理解の深化】	研修室
	・ 部屋長は、ルームキーと体温計を受け取る。	
17:00	○ 入室	以後、基本はくつ移動。
17:30	○ 夕食	
	「いただきます」（102）	レストラン
	「ごちそうさまでした」（102）	
	・ 食事後、部屋へ戻って着替えをする。	
19:00	○ プログラム②	
	【夜の森を感じるナイトハイク】	- ホールに集合 - 野外
20:30	○ 入浴 ※浴場まではスリッパの移動可。	天然温泉
21:00	○ 仲間との情報交流	研修室
21:20	○ 健康観察(検温)，諸連絡	研修室
	○ 就寝準備	
	◆ 事務局・スタッフミーティング	E108
22:00	○ 就寝	



出発式



開塾式



特別プログラム 教育長講話



プログラム①グループワーク



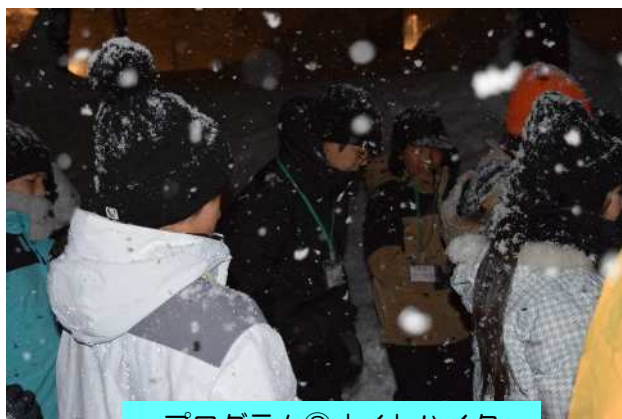
プログラム①グループワーク



プログラム①グループワーク



プログラム②ナイトハイク



プログラム②ナイトハイク

日程：2日目

2023.12.26<火>

時刻	活 動 内 容	備 考
6:30	○起床 ・起床時刻前に目が覚めても騒がない。 ・検温、健康チェックカード Google Forms	
7:00	○朝食（ビュッフェ） 「いただきます」（103） 「ごちそうさまでした」（103） ○部屋の清掃	・ レストラン
8:30	○プログラム③ 【森の生き物たちの知恵を学ぶガイドウォーク】 ※無積雪時はガイドウォークを30分延長する。	・ 研修室、野外
11:30	○昼食 「いただきます」（104） 「ごちそうさまでした」（104）	・ レストラン
13:00	○プログラム④ 【グループの力を引き出すアクティビティ】 ※無積雪時は【焚き火に挑戦】に変更。	・ 研修室、野外 ※無積雪時： オープンハウス
16:10	○入浴	・ 天然温泉
17:00	○夕食【テーブルマナー】 「いただきます」（105） 「ごちそうさまでした」（105）	・ レストラン
19:00	○プログラム⑤ 【自分と向き合う振り返り】	・ 研修室
19:45	○プログラム⑥ 【PVづくりガイダンス】	・ 研修室
21:20	○仲間との情報交流 ○健康観察(検温)，諸連絡 ○就寝準備 ◆事務局・スタッフミーティング	・ 研修室 ・ E108
22:00	○就寝	



プログラム③ガイドウォーク



プログラム③ガイドウォーク



プログラム④イグルーづくり



プログラム④イグルーづくり



プログラム④イグルーづくり



テーブルマナー



プログラム⑤ふりかえり

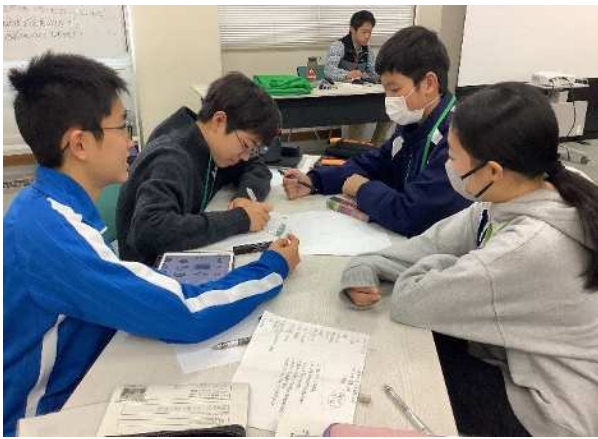


プログラム⑥PVの作り方

日程：3日目

2023. 12. 27<水>

時刻	活 動 内 容	備 考
6:30	○ 起床 ・ 起床時刻前に目が覚めても騒がない。 ・ 検温、健康チェックカード Google Forms	
7:00	○ 朝食（ビュッフェ） 「いただきます」（106） 「ごちそうさまでした」（106） ○ 部屋の清掃	・ レストラン
8:30	○ プログラム⑦ 【ふるさと西尾を見つめなおすPV絵コンテづくり】	・ 研修室
10:00	○ プログラム⑧ 【ふるさと西尾の魅力を伝えるPVづくり】	・ 研修室
11:30	○ 昼食 「いただきます」（201） 「ごちそうさまでした」（201）	・ レストラン
13:00	○ プログラム⑧ 【ふるさと西尾の魅力を伝えるPVづくり】	・ 研修室
17:30	○ 夕食 「いただきます」（202） 「ごちそうさまでした」（202）	・ レストラン ・ 財布を配る。
19:00	○ PV発表打ち合わせ ・ 打ち合わせが必要な班は、ここで最終打ち合わせを行う。 ・ 終了している班は館内で土産物を購入してもよい。	・ 研修室
20:30	○ 入浴	・ 天然温泉
21:20	○ 仲間との情報交流 ○ 健康観察(検温)，諸連絡 ○ 就寝準備 ◆事務局・スタッフミーティング	・ 研修室 ・ 財布を預ける。 ・ E108
22:00	○ 就寝	



プログラム⑦絵コンテづくり



プログラム⑦絵コンテ審査



プログラムPVづくり



プログラム⑧PVづくり



プログラム⑧PVづくり



プログラム⑧PVづくり



プログラム⑧PVづくり



プログラム⑧PVづくり

日程：4日目

2023.12.28<木>

時刻	活 動 内 容	備 考
6:30	○ 起床 ・ 起床時刻前に目が覚めても騒がない。 ・ 検温、健康チェックカード Google Forms	
7:00	○ 朝食（ビュッフェ） 「いただきます」（101） 「ごちそうさまでした」（101） ○ 部屋の清掃 ○ 荷物整理	・ レストラン
8:30	○ チェックアウト ・ 荷物は指示された場所へ運ぶ。	
9:00	○ プログラム⑨ 【ふるさと西尾PV発表】	・ 研修室
10:00	○ プログラム⑩ 【4日間の振り返り】	・ 研修室
11:30	○ 昼食 「いただきます」（102） 「ごちそうさまでした」（102）	・ レストラン ・ 財布を配る
12:10	○ 修了式・閉塾式 司会（榊原） 1 始めのことば（榊原） 2 トヨタ白川郷自然学校代表あいさつ（山田俊行先生） 3 修了証授与 4 塾生代表お礼のことば 5 団長あいさつ（一色中 長谷 校長） 6 終わりのことば（鈴木） ※記念撮影	・ 催事ホール ・ 服装は、各校の学校指定ジャージ。
12:40	○ 出発 ○ ひるがの高原SA トイレ休憩 ○ 美濃加茂SA トイレ休憩	・ トイレに行く
16:30	○ 帰着 ・ 帰着式はバス内で行う（全員から一言ずつ）。 ○ 解散	・ 市役所北駐車場



プログラム⑨PV発表



プログラム⑨PV発表



プログラム⑨PV発表



プログラム⑨PV表彰



プログラム⑩ふりかえり



プログラム⑩ふりかえり



修了式 修了証授与



閉塾式 塾生代表のこたば





リーダー養成塾で学んだこと

西尾中学校

【プログラム1 相互理解の深化】

みんなで手をつなぎ、座っているところから工夫して立つというstand upをしました。最初は少人数でスタートし、だんだんと人数を増やしていき最後には全員で行いましたが、クリアするのに40分ほどかかりました。このことから、人数が増えるとたくさんの意見やよい案が出て、意見がまとまりにくく、何をするかわかっていない人が出てくることがわかりました。意見を一方的に出すのではなく、人の意見をよく聞き、受け入れることが大切であると学びました。

【プログラム4 イグルー作り】

みんなでイグルーを作りました。イグルーは雪のブロックを作ること、ブロックを切ること、組み立てることなどやることがたくさんあります。時間も限られており、協力する事が大切と考えました。始めはみんな口数が少なかったけれど、だんだんと呼びかけなど声をかける人が増えていきました。すると自発的に動く人が増え、すばやく質のよいイグルーを作ることができました。このことからコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことが大切であると学びました。

【プログラム8 PVづくり】

PVづくりでは自分がやりたいことがたくさんありました。しかし、他のプログラムでの経験から、他の人の意見も受け入れることを考えて行いました。自分の得意なことをしたり、他の人の意見を参考にしたりして伝わりやすいPVを作ることができました。

【これまでのことから学んだこと】

これらの経験を経て、他人の意見を大切にしてみんなが納得いくものにする僕のリーダー像ができあがりました。人数が増えるとたくさんよい意見が出てすごいものを作ることができますが、納得いかない人も出てきます。自分の意見を押し通すのではなく、みんなの笑顔を優先して他の意見にも耳を傾けることを大切にしていきたいです。

自分のリーダー像に向かって

西尾中学校

僕はリーダー養成塾で2つのことを学びました。

1つ目は、リーダーのあり方です。特別プログラムで稲垣実行委員長からリーダーのあり方についての授業がありました。そこでは、リーダーには人の信望が厚くなければいけないこと、信望を集めるには、「心」と「力」と「姿」の3つがなければいけないことがわかりました。また、リーダーの最終形は、みんなが笑顔でいるためにどういうことをするべきか突きつめていくことであり、これは信望を集めることにもつながることがこの特別プログラムでわかりました。しかし、PVづくりのときに僕は自分のわがままを突き通してしまい、自分がやることになっていた役を同じ班の人に代わりにやってもらったことで班の人たちにも嫌な思いをさせてしまいました。我慢する力は自分にとって大事なことだと勉強になりました。この経験から、我慢する力はリーダーの最終形にもつながってくると思いました。

2つ目は、仲間についてです。プログラム1では、いろいろなゲームを通して仲間が増えると一人ではできないことができるようになることや、仲間が増えると意見の違いが出てばらばらになってしまうことを経験しました。イグルー作りでは、チームに分かれて作業しました。プログラム1での経験から、今回は自分たちで話し合いをたくさんして役割分担をして作業しました。そのおかげで、私たちのチームは広い氷の空間をきれいに作ることができました。イグルー作りを通して、チームが1つになってやることの大切さを学びました。いろいろな意見や考え方をまとめることは大変です。しかし、チームが1つになり一緒にやってやり遂げる達成感や喜びを分かち合える、そんな仲間づくりをしたいと思いました。

この4日間で学んだことを学校で生かしていき、自分のリーダー像に向かって努力していきたいです。また、このリーダー養成塾での学びや経験を自分のものだけにするのではなく、学校のリーダーにも伝えて西尾中学校のレベルを高め、よりよい学校にしていきたいです。

リーダーとして学んだこと

西尾中学校

私はリーダー養成塾で、リーダーとして必要なことを学びました。特別プログラム稲垣実行委員長の「リーダーとは」という話を通して、リーダーは心があるから信頼が集まるわけではないことや、人から信頼を集めるためには心と力と姿で信頼が集まることがよくわかりました。私は今まで、大切にすべきことを思っているけれど、姿で表すことをしていませんでした。思っているだけではなく、姿にすることでみんなからの信頼が集まるとわかりました。また、自分から声をかけにいくことがあまり得意ではありませんでしたが、自分から声をかけにいたり、より話し合いを深めるためにたくさんの意見を出したりすることを意識しました。

イグルー作りでは、ブロック作りを担当し仲間と協力することができました。仲間と協力することで互いの信頼が深まりとてもよい経験になりました。テーブルマナーでは、教えてもらったことを実際にやってみると、難しく上手にできませんでした。初めて知ることがたくさんあり、とても勉強になりました。

しかし、後悔していることがあります。それはお風呂でのことです。露天風呂や天然温泉、友達と一緒に入れるといううれしさで周りを見ずに行動してしまったことです。楽しくなりすぎると周りが見えなくなるという自分の直さなければならない部分を知ることができたので、同じ失敗を繰り返さないように行動していきたいです。

PVづくりでは自分の意見を通そうと自分中心に考えてしまったところが反省点です。学校でも同じように自分の意見を通そうとしてしまうことがあることに気づきました。リーダー養成塾という場だからこそ、たくさんの意見が出てくることのよさと、意見のまとめ役の必要性を実感しました。リーダーとして、利己ではなく、利他の心を心がけていきたいです。

私の思うリーダー像は、稲垣塾長がおっしゃっていた信頼されるリーダーです。改めて見つけることができたリーダー像を目標にし、学校のリーダーとして学んだことを生かし、姿で表したいです。

新しい気づき

西尾中学校

私がリーダー養成塾を通して学んだことは、新たな仲間と交流することの楽しさや大切さです。

結団式で初めて出会った仲間たち。もちろん他校の人たちで、顔も名前も知らない人。楽しみと同時に不安な気持ちも大きかったです。元々、初対面の人に話しかけるのは少し苦手意識がありました。緊張するし、うまく話せなかったらどうしようと感じて、最初は友達をつくれませんでした。しかし、数回の研修を重ねることで多くの人たちと会話をするできるようになりました。

プロモーションビデオづくりの班が同じになった人に対しての「よろしくね」や研修会後の「またね」という言葉を通じて、もっと仲よくなりたいと感じる場面がたくさんありました。同じ学校の仲のよい友達と会話をするのももちろん楽しいことですが、新しい仲間と交流を深めることはいろいろなことを知ることができてとても楽しいものだ実感しました。

また、新しい発見をすることもできました。それはスローガン決めをするときです。私は、Zoomだからこそ意見が言いにくいイメージがありました。しかし、他校の子たちは積極的に発言をし、大事な部分をくみとってまとめていてすごいなと感じました。私は、学校でも自分が何かに積極的に取り組むことが大切なのではないかと思いました。自分が周りに指示を出しているだけだったら、周りはほとんど動いてくれないだろうし、嫌な気分になると思います。それなら、まずは自分から、そして自分が一生懸命に動くことが大切だと考えました。

このようにして、新たな仲間と交流を深めることで新しい気づきが多くあり、日常生活にも生かしていける学びがあることを知りました。これからの日常生活では、リーダーとして私が大切だと考える笑顔を忘れずに、何事も自分から一生懸命取り組んでいきたいです。

貴重な体験

鶴城中学校

僕は、このリーダー養成塾を通して、リーダーとしての新たな視点を2つ学ぶことができました。

1つ目は、みんなが納得する答えの出し方です。初日の最初のプログラムで、みんなで協力して行うスタンドアップなどを行いました。ゲームを成功させるために、自分は必死に考えてアイデアを出しましたが、塾生のみんなは自分が思いつかないような意見をもっていました。そんなとき僕は、自分の意見ばかり主張するのではなく、他の人の意見を取り入れることで、さらに良いアイデアが生まれることを感じました。そうすることで、みんなが納得する答えになると思いました。

2つ目は、みんなで協力することです。僕は今まで、リーダーの役割はみんなを仕切ることだと思っていました。しかし研修を通して、そればかりではないことに気づきました。イグルー作りでは、14人のグループでイグルーを作りました。僕はイグルーの中でブロックをもらって頑丈にする担当でした。イグルーの外では、箱に雪を積める人、踏む人、運ぶ人など、それぞれ役割を決めて活動していました。そんな中で、ひとりでもできることを2人で協力して取り組んでいるところを見ました。僕だったら自分1人で意地を張っていたと思います。協力して行うことで効率よく綺麗なイグルーが完成し、大変な作業もみんなで楽しく取り組むことができました。楽しくできたのは、押し付けられた仕事をこなしていたからではなく、みんなで考えて、みんなで協力して行ったからだと思います。

僕は、残念ながら2日目の夜に体調を崩してしまい、みんなと一緒に活動ができなくなってしまいました。西尾市のPV作りに参加することができなかったのはとても残念ですが、今まで見たことのない量の雪の世界で、簡単にはできない貴重で楽しい経験をすることができて本当によかったです。何より養成塾に参加する前よりもリーダーとしてのあり方やリーダーの役割など改めて知ることができ、成長することができたことをうれしく思っています。この経験が無駄にせず、リーダー養成塾に参加できたことを誇りに思って、これからの学校生活やクラブチームでの活動に生かしていきたいです。ありがとうございました。

リーダーになるために

鶴城中学校

リーダー養成塾に参加して、多くのことを学びました。その中でも特に心に残っているのは、「リーダーという存在の大切さ」と「楽しみながら取り組むことの大切さ」です。

1日目にスタンドアップというプログラムを行いました。最初は、それぞれの場所でみんなが自由に話していて、なかなか意見がまとまらずゲームが難航していました。しかし、自然学校の方のアドバイスを聞いて、一人の子がまとめ役としてみんなにアイデアを出していました。この子の行動のおかげでだんだんと意見がまとまりだし、無事にゲームをクリアすることができました。僕はこのとき、リーダーとしてまとめる人がいないと、良い意見も生かすことができずに活動が進まないということを感じ、リーダーの大切さを改めて知ることができました。

2日目に14人のグループでイグルー作りを行いました。たくさんの雪の中で初めて行う活動ばかりで、最初の方はブロック作りもなかなか上手くできず、効率よく作業を進めることができませんでした。しかし、みんなと楽しみながらも真剣に取り組むことで、100個以上のブロックを積むという大変な作業も、最後まで諦めずにやりきることができました。丈夫で美しいイグルーを作ることができたこと、そしてグループのみんなとの距離がさらに縮まったことは、楽しんで取り組んだ結果だと思います。

初日に行ったプログラムで、リーダーに大切なことを一言で書いたとき、僕が書いた言葉は“助け合い”でした。しかし、リーダー養成塾での研修を行うにつれてこの思いがだんだんと変わっていききました。まず自分がみんなのために行動することで、周りも自分の助けになってくれる、そう考えるようになりました。僕はたまに自分のことを優先してしまい、周りに迷惑をかけてしまうことがあります。しかし、これからはもっと周りを見て行動していきたいです。リーダーとしてみんな楽しんで取り組むことを心がけ、今よりももっと他の人のことを考え行動し、姿でみせるリーダーになりたいです。そして、今よりもっとみんなから頼られて、みんなを笑顔にできるリーダーを目指したいです。

リーダー養成塾で学んだこと

鶴城中学校

私はリーダー養成塾を通して「自分の意見をみんなにしっかり伝えられるようになる」という目標をもって、4日間を過ごしました。その目標を達成するために、積極的に手を挙げて意見しようと決めて3泊4日の研修に臨みました。そんな4日間の中で、特に印象に残っているプログラムが2つあります。

1つ目は、グループの力を引き出すアクティビティのイグルーづくりです。みんなですぐイグルーを作るためには、しっかり話し合いながら作業を進める必要がありました。グループのみんながどんどん意見を出す姿を見て、私も自然に意見を言うことができました。目標を達成するために小さな一歩を踏み出せた気がしました。

2つ目は、西尾の魅力を伝えるPV作りです。最初はアイデアがなかなか出ず、進まないことが多くて苦戦していました。でもそんなとき、仲間が一生懸命アイデアを考え、意見を出そうとしてくれている姿を目にしました。なかなかアイデアが浮かばなくても意見を出そうとする仲間を見て「凄いな」「私ももっと意見を出そう」と思いました。仲間がそう思わせてくれたからこそ、私はさらに積極的に意見を言うことができたと思います。

今回のリーダー養成塾で目標にしていた「自分の意見をみんなにしっかり伝えられるようになる」ということが、仲間のおかげで達成することができた4日間になったと思います。その他にもイグルー作りで仲間と声をかけ合いながら諦めずに取り組んだことや、PV作りで見ている人が「やってみたい」「行きたい」と思ってもらえるようにたくさんの工夫をしたことなど、本当に良い経験をすることができました。みんなで意見を言い合って協力してきたことで、塾生のみんなとの絆ができたと感じました。

リーダー養成塾の中では、苦手だった自分の意見を自信をもって言うことができるようになりました。これからの学校生活でも、この4日間で学んだことを大切にしていって、同じように意見が言えるようにしたいです。自分が理想とするリーダーになれるようにこれからもがんばります。

目標に向かって

鶴城中学校

私はリーダー養成塾に出発する前、周りは知らない人ばかりで心配でした。しかし、プログラム①の相互理解の深化でのアイスブレイクでみんなと少し打ち解けることができ、リーダー養成塾に行く前より楽しみになりました。リーダー養成塾に参加するにあたって、私は「その場で考えて発言するときに、自信をもってはきはき言うこと」を目標にし、4日間を過ごしました。私の中で特に印象に残っているプログラムは、ナイトハイクとPVづくりです。

ナイトハイクでは、自分と向き合う時間がありました。その時間で私は、どうすれば今回の目標が達成できるようになるかを考えました。明確な答えは出せませんでしたが、意見する機会があったら、積極的に手を挙げて発言していくとだんだん慣れていき、はきはきと話せるようになるのではと考えました。

PVづくりでは、私たちのふるさと西尾の魅力を伝えるPVを作りました。編集から小道具作りまで自分たちで行うので、少し大変ではありましたが、チームで役割分担をして効率よく進められたと思います。話し合いをする際になるべく発言するようにし、PVが良くなるように、また自分の目標が達成できるようにしました。最初はあまりはきはき話せませんでしたが、中盤になるとはきはきと自信をもって話すことができるようになってきました。今までのことをふり返ってみると、これまでの私は周りを気にして、話す内容を考え過ぎていたと思いました。

今回、目標にした「その場で考えて発言するときに、自信をもってはきはき言うこと」をリーダー養成塾の中で少し達成できたと思います。まだ完全にできるようになったわけではないので、学校生活の中でも私の今の目標としていきたいと思います。失敗を恐れず、考えすぎないようにして発言していきたいと思います。

また、リーダー養成塾を通してもう1つ新たな目標ができました。それは「みんなに信頼されるリーダーになること」です。みんなに信頼してもらえるように努力を重ね、リーダーとしてみんなを導いていきたいです。

この4日間を通して学んだことを学校で生かし、より良い学校、より良いクラスに貢献できるよう、これからもがんばっていききたいと思います。

リーダーとして大切なこと

平坂中学校

僕は今まで小学校で学級代表や児童会などのリーダーを務めてきました。しかし、クラスや学年の活動に貢献できていなかったり、みんなから信頼されていないように感じたりしていました。そこで、よりよいリーダーになるためには何が必要なのかということを学ぶために、このリーダー養成塾の塾生に立候補しました。

トヨタ白川郷自然学校に到着したときの開塾式で、学校長さんから「雪の冷たさを知ってください。」というお話をいただきました。僕はきっと大切なことなのだろうと思ったのですが、よく意味がわかりませんでした。

リーダー養成塾最初のプログラムである「相互理解の深化」では、グループ活動を通して早く打ち解けることができただけでなく、「物事を行う人数が増えるほど多くの結果が得られるが、その分まとめることが難しくなる」というリーダーにとって大切なことを1つ知ることができました。

この4日間で特に印象に残っているプログラムは、イグルー作りです。

イグルー作りでは、作り方を教わったばかりでまだ何もわからなかったところから始まりました。まずは役割分担をしようと思い、穴を掘る人とブロックを作る人に分けたのですが、そこからは特に指示がなくても自然に役割分担がされていき、それぞれが自分の仕事をしながらも周りをよく見て作業を進めていくことができました。その結果、制限時間よりも早く完成させることができました。このとき、学校長さんがおっしゃった言葉を思い出しました。「雪の冷たさを知る」とは、体験して実感することでした。そして今、「相互理解の深化」のときに見つけたことを、イグルー作りで生かして実感したと気づきました。

僕はこのリーダー養成塾で「仲間と協力すること」がよりよいリーダーになるために大切なことだと思いました。今思い返すと、僕は何か困ったことや課題があったら、いつも自分一人だけで解決しようとしていたことが多かった気がします。しかしこのリーダー養成塾で出会った先生方や仲間たちのおかげで、それではいけないことに気づくことができました。この学びを無駄にしないために、これから学校でそのことを生かしながら、よりよいリーダーになるための一歩を踏み出していきたいです。

理想のリーダー像を探す

平坂中学校

僕はリーダー養成塾に行く前、他の知らない学校の子と仲よくなれるか心配でした。しかし、夕食のときにくじで席を決め、他校の生徒と一緒にになりました。「チャンス」と思い自ら話しかけると、会話が弾み他校の生徒との距離がだんだんと近くなりました。新しくできた仲間と一緒に学び、自分の課題でもある「相手のことを考え、尊重しながら意見をまとめ上げ、自ら引っ張っていく」という理想のリーダー像を見つける事に成功しました。

そのことに気づかせてくれたプログラムは、「ふるさと西尾の魅力を伝えるPVづくり」です。担当したテーマは公共についてでした。1次審査では「何を伝えたいのかわからない。」とインタープリターから指摘していただきました。僕たちのメンバーは、構成からもう一度練り直すことにしました。最初は、何度も脱線し意見がまとまらず、話が進まないときもありました。話し合いの中で1人の子が「みんなの意見をリンクさせて1つにしてしまえばよくなると思うよ。」というアドバイスをくれ、チームリーダーを担当する僕は、みんなと事前に集めた情報を再度見直し、西尾市の防災に目を向けて防災アプリという情報にまとめることができました。ストーリーは、地震を想定している状態で防災アプリの存在に気づき、アプリを生かして助かるという流れです。撮影のときはメンバーが積極的に声をかけていかないとよいPVを撮ることはできないと感じ、どうしたらみんなが意見を出してくれるか考えました。考えた結果、チームリーダーである僕自身が実際のように演技することだと考えました。地震を想定した状態なので、撮るときにわざと揺らすなどのアドバイスをしました。完成後は、メンバーとの絆や団結力を深めることができました。振り返ってみると、他校の生徒と1つになり、29人で決めたスローガンを達成することができたと思います。

研修から仲間との接し方やテーブルマナー、自然とのふれあいなど、日常生活とは違った体験からも、リーダーとはどのような姿なのかを学ぶことができました。この4日間のリーダー養成塾は長いようであっという間でした。僕はリーダー養成塾で学んだことをふだんの生活にも生かし、常に目標をもって自分自身の向上につなげてがんばりたいと思います。

自分を成長させてくれたリーダー養成塾

平坂中学校

私はリーダー養成塾を通して自分が目指すリーダー像を見つけることを目標に、さまざまな経験をしました。その中で特に印象に残っているプログラムは2つあります。

1つ目はイグルー作りです。慣れない雪の中、仲間と協力して完成させることができ、とても達成感がありました。それに加え、仲間とより仲よくなれた気がしてうれしかったです。イグルー作りにはたくさんの役目があります。例えば、ブロックを作る係、イグルーの中から支える係などです。それぞれの人が自分の得意なことを生かして率先して動いていました。そうすることで効率よくイグルーを作ることができました。そこから、集団で1つのことをするとき、一人一人の個性を見てその人に合った役目を与えることが大事だと思いました。私たちリーダーはみんなの個性や特技を「知る」ということが大切ということ学びました。

2つ目はPVづくりです。絵コンテ作りや撮影、編集など全てが初体験だったのでうまく作れるか少し心配でした。完成までに苦労することがありました。絵コンテ作りのとき、私のチームは伝えたいことが多すぎて、うまくまとめることができませんでした。しかし、インタープリターの方のアドバイスを聞き、その反省を生かして改善することができました。私はたくさん意見を出すことを目標に取り組みました。上位3位には入れませんでした。が無事に完成することができました。PVづくりを通して、諦めずに仲間と協力すれば難しいことも乗り越えられることを学びました。

リーダー養成塾を通して、私が思うリーダー像を見つけることができました。それは仲間から意見を取り入れ、それを反映できる人です。それをするためにはまずは仲間のことを知り、関わる大切だと思います。しかし、仲間と話すためには雰囲気作りも重要になります。PVづくりでは明るい雰囲気をつくることで話し合いがスムーズになりました。このリーダー養成塾で、リーダーとして大切なことをたくさん見つけました。今後の学校生活では、この経験を生かし、仲間からの信望を得られるリーダーになれるよう、行動に責任をもっていきたいです。そして、学校や学年、クラスの人の笑顔を優先し、感謝の気持ちを伝えられる人になります。

自分を変える第一歩

平坂中学校

私は、今の自分に足りていないことは何だろうとよく考え、リーダーとして必要なことである「コミュニケーション能力」を高めることを目標に4日間を過ごすことに決めました。

相互理解の深化を学ぶグループ活動では、仲間との交流で緊張している部分もありましたが、ミッションをクリアするために積極的に自分の意見を出し、みんなで協力して進めることができました。仲間と話し合う中で、まずは人の意見をしっかり聞いて相手の考えを大切にすること、相手を思いやる気持ちを忘れないことが大事だということに気づきました。

PVづくりでは、自分から積極的にアイデアを出して仲間全員とコミュニケーションをとれるようにがんばりました。そして、役割を果たすために何をすべきか考えたり、迷ったときは相談したりすることができました。大きな課題であったこのPVづくりでは、全員の意見を取り入れるために自分の意見を主張しすぎず、他のメンバーの意見を受け入れることの大切さに気づきました。PV発表では賞が獲れず悔しい結果でしたが、そう思えるほどみんなと力を合わせてPVづくりができたのだと思いました。

この4日間、塾生のみんなと気持ちを伝え合う機会が多く、人の考えから得るものがたくさんありました。また、自分からすすんでコミュニケーションをとることで楽しく活動ができ、仲間を知ることで信頼できるようになり、プログラムでも安心して役割を任せることができました。みんな一人一人個性があり、その個性を理解し尊重することが大切だということに気づくこともできました。

私が思う理想のリーダー像は、自分の意見をもちつつも相手の気持ちを考え積極的に動いたり、その場に適した対応ができたりする人です。また、リーダーとして必要なことは「心」「力」「姿」だと思います。「心」は、強い心をもちみんなをまとめ引っ張ること。また、心と心で向き合うことが大切だと思います。「力」は、率先して進める力。忍耐力。仲間を信じる力。「姿」は、自分の姿で見せること。人の姿を見て学ぶこと。リーダーになるということは、簡単なことではなく勇気も必要ですが、理想のリーダー像に少しでも近づけるよう、このリーダー養成塾で学んだことを大いに生かして一歩ずつ前に進みがんばっていきます。

リーダーとして大事なこと

寺津中学校

僕は、新しい仲間と「トヨタ白川郷自然学校」での経験を通して自分が思うリーダー像を見つけることができました。僕が思うリーダー像は状況を把握して行動し、仲間の意見を尊重する人だと思いました。それに気づかせてくれたプログラムが「相互理解の深化」と「P Vづくり」です。「相互理解の深化」ではスタンドアップというゲームを行いました。2人や4人のときは簡単に成功しましたが、7人でやると2人のときの作戦がうまくいきませんでした。また、全員でやったときは、みんなが思いつくことを提案して、ばらばらの動きになり、全く成功しません。そのとき、仲間が「ちゃんと話し合おう、この作戦ではだめだ。違う作戦でやってみよう。」と言い、一度みんなで話し合うことで、成功することができました。とてもうれしかったし、達成感がありました。これまで、リーダーは積極的に行動して指示を出す人だと思っていたのですが、全員が指示をする人だったら、逆に話がまとまらなくなってしまいます。積極的に発言や行動するだけでなく、状況を判断して、仲間の意見を引き出し、まとめて導いていくこともリーダーとして大切だとわかりました。

「P Vづくり」では、西尾市の歴史について、魅力を知ってもらいたいと思いました。そのためには、説明を多く入れたらよいと思っていました。しかし、「説明が多くておもしろみが薄くなっている。」と指摘されました。どうしたらよいのだろうと悩みながら、チーム同士で話し合う中で「会話のような気軽な説明にしたらどうかな。」と意見が出てきました。僕には、考えつかなかった新しい意見でとても新鮮でした。それをもとに、納得するような絵コンテが完成しました。そのときに僕は、自分の意見だけにとらわれずに、さまざまな意見にも耳を傾けることがリーダーとして大事なのだなと感じました。

この4日間で、いろいろな経験をしてリーダー養成塾の目標に近づくことができました。しかし、僕はまだ、行きづまったときに自分から前に出ることができません。これからの学校生活で自分が見つけたリーダー像を目指して、自分から一歩踏み出していきたいです。

リーダーについて学んだこと

寺津中学校

私が思っていたリーダー像は、たくさん意見を言ったり、まとめたりする人というイメージでした。しかし、リーダー養成塾に参加してそれ以外にも必要な力があると気づくことができました。特に、「相互理解の深化」と「P Vづくり」のプログラムから多くのことを学びました。

「相互理解の深化」の漢字ゲームでは、人が増えれば増えるほどより多くの漢字を見つけることができ、集団になることで大きな力になることがわかりました。しかし、次のスタンドアップというゲームでは、人が増え、意見を言う人が増えるほど、まとまらず難しくなっていました。意見が飛び交いまとまらない中、仲間の一人が「まず、やってみよう。」と言い、行動につながる一言がありました。リーダーとして集団をまとめることは、実際の行動に導くことだと感じました。

「P Vづくり」では、よりよいものを作るために妥協しないことの大切さを学びました。P Vを作るのは、本当に苦しかったです。仲間の意見をすべて取り入れた結果、伝えたいことが多すぎて、長くなってしまい、伝えたいことを絞っていくことになりました。しかし、私は海について伝えたい、仲間は山について伝えたい。たくさん話し合いましたが、なかなかまとまりませんでした。長い話し合いの末、共通の想いを見つけることができました。それは、「きれいにしたい」という想いでした。「きれいにしたい。」という自分たちから動くような言葉の提案に、「いいね、いいね。」と盛り上がり、私たちがいちばん伝えたいことは何なのかを見つけることができました。それは、話し合いの中で、妥協せずにぶつかり合わなければ、できなかったと思います。

私は、リーダー養成塾で、理想のリーダー像について見直すことができました。それを目指すためには、さまざまな経験が足りていないと気づきました。だからこそ、学校や日常で多くのことにどんどんチャレンジしていきたいです。これらの経験をもとに、リーダーとして、学校や地域を盛り上げていきたいです。

愛のあるリーダーとは

福地中学校

私はリーダー養成塾の参加が決まったとき、達成したいことを2つ決めました。それは様々な体験の中で自分を客観視して、理想のリーダー像と物事を達成するための課題を見つけることです。

最初のプログラム「相互理解の深化」では、大勢で何かを行うと意見がまとまらず大変だけれど、さまざまな意見を取り入れることで、できることが増え大きな達成感を感じることを学びました。また、いくつかのプログラムを進めるうちにわかってきたことがあります。それは、自分の得意なことです。私は周りの人に何かを伝えることが得意だとわかりました。そして、周りの人に伝えるのと大勢の人に伝えるのでは、伝え方の工夫が異なることもわかりました。イグルー作りでは、それぞれの個性を生かし、協力して製作することができました。製作するときは、イグルーの中で掘ったり支えたりする人と外からブロックを作る人、くっつけるための柔らかい雪を運ぶ人に分担しました。ブロックを作る人は、あまり目立たないけれど、とても重要な役割で、一生懸命に作業している仲間を見てとてもかっこいいと思いました。だからこそ、私は人目につかないところでがんばっている人に気づき、愛のある感謝の言葉を伝えられるリーダーになりたいと感じました。

PVづくりでは、西尾の魅力を伝えるための山場を作る作業で、お互いの意見が合わず苦戦しました。そこで、まずは全員の意見を聞き、お互いの意見を尊重しながら、それぞれの意見のよいところを取り入れました。そうすると、納得のいく構成になり達成感を感じました。小道具の製作では、なかなかうまく作れない物がありましたが、他の班の子が「こうするといいんじゃないかな。」とアドバイスをくれました。その子の心配りに愛を感じました。みんなで作り上げたPVは、班の子や先生が工夫を評価してくれて、2位というすばらしい結果を残すことができました。

私はいつもと違う環境で初めて会う仲間と過ごすことで、一人一人の個性や大勢で行うことの大変さやすばらしさを再認識できました。また、理想のリーダー像やリーダーになるための課題を見つけることができました。これからは、この養成塾で見つけた理想像や課題を生かして、愛のあるリーダーに少しずつ近づいていきたいです。

新しい考えを生み出す「安心感」の大切さ

福地中学校

私は、リーダー養成塾で「自分とは違う考えも取り入れ、新しい考えを生み出すために大切なこと」を学ぶことができました。

プログラム1の「相互理解の深化」では、記号の中から漢字を見つけるという活動を行いました。最初、自分で考えたときに見つけることができた漢字は10個程度でした。自分の中では、すごくたくさんの漢字を見つけることができ、これ以上はないと思っていました。しかし、グループで漢字を出し合ってみると、倍の20個も見つけることができました。さらに、全員で行うと、80個もの漢字が見つかりました。この体験から、一人では出すことのできない新しい考えも仲間と協力し意見を出し合うことで、生み出すことができるということを改めて感じることができました。

リーダー養成塾での話し合いは、学校と違い、どんな意見でも自信をもって言うことができました。それはなぜかと考えたとき、みんなが何気なく使っていた顔つきやあいづちで作り出されている「安心感」があるからだと気づきました。苦手なことや、自信のないときは誰でも不安になります。しかし、意見を出し合うときに、不安は邪魔になってしまいます。私も、リーダー養成塾で不安になってしまう場面がたくさんありました。その中で仲間のおかげで自信をもつことができたことがあります。それは、PVについて説明をする原稿を考えているときでした。この言葉は変ではないか、うまく伝わらなかったらどうしようなど、不安で悩んでしまい手が止まっていました。そんな時、同じ班の子が声をかけてくれました。話を聞いてもらいアドバイスをされると、今まであった不安が嘘のようになくなっていました。私は、不安をなくすためには、助けてくれる仲間がいるという「安心感」も大切だということを学ぶことができました。困っている仲間を助けるためには、周りを見て行動しなくてははいけません。それは学校でも同じです。

「安心感」があることで今ある考えをより良い考えにすることができます。だから、私は「安心感」を生み出すことができるリーダーになりたいと強く思いました。

リーダー養成塾を通して

東部中学校

僕はリーダー養成塾で、自然あふれる環境の中、他校の人たちと関わったことでリーダーとして何が大切なのかを学びました。そして、今までの自分を振り返り、今の自分に何ができるのか、何をすべきかを考えることができました。

事前研修で他校の生徒と交流したときに、自分から話しかけたり、自分の考えを発表したりすることがあまりできませんでした。仲間が話すのを聞くだけでなく、自分の考えを積極的に話すことも必要だと気づきました。

トヨタ白川郷自然学校での4日間の研修では、人数が多く成果も大きい一方で、人数が増えると意見が通りにくいと感じました。多くの意見が出たときに、リーダーとして、「まとめる力」が必要だと気づきました。また、どの人の意見も平等に聞くという「思いやりの心」も大切だと思いました。そして、自分の意見をみんなに伝えるという「自ら示す姿」ももち合わせることで、周りからの「信望」を得ることができると感じました。どんなにリーダーとして発言力があっても心が冷たかったり、優しい言葉をかけても自ら動く姿がなかったりすれば、信頼されるリーダーにはなれないということです。

一番心に残ったプログラムは、イグルー作りです。西尾では見られない積雪に驚きながらも、自分は何をすべきかを考え、仲間と協力しながらイグルーを建てていきました。仲間と協力しながら自分たちの力でできあがっていくイグルー作りは貴重な体験でした。

また、西尾の魅力を伝えるPVづくりでは、グループで協力し「食」についての発表をしました。「ここはもっと強調した方がいいんじゃないか。」「もっと細かくしようよ。」など、自分の意見を伝えながらも、相手の意見も大切にすることで自分だけではできないようなPVを作ることができました。

4日間の研修で、普段はできないたくさんの体験をさせていただきました。また、リーダーとして積極的に行動したり、相手を思いやったりすることの大切さを学ぶことができました。これからは、このリーダー養成塾で学んだことを日常生活に生かすとともに、理想のリーダー像に近づいていきたいです。

リーダーの意味とは

東部中学校

私はこのリーダー養成塾を通して、リーダーのあり方を学びました。今までの私は、リーダーとして前に立って指示を出すことはありましたが、リーダー養成塾では「リーダー」という立場がないため、自分が指示を出すということはあまりできていませんでした。しかし、出発式や開塾式のときに、先生からの指示がなくても自分からしおりを見て「〇〇中学校の子こっちに並んでね。」と全体に指示を出してくれる生徒がいました。私は、リーダーというのは「何かお願いされたことに対して先頭に立って指示を出す人」ではなく「今自分がすべきことを見つけて自分から動くことのできる人」だということに気づきました。それと同時に、ただ仲間の指示に従って並んでいるだけの今の自分は、まだみんなに信頼してもらえるようなリーダーにはなれていないと思いました。私は東部中学校の代表として選ばれてここに来ているのだから、「もっと自分から行動をしよう」と改めて思いました。

私は4日間でたくさんのプログラムを経て、自分が今「リーダー」という立場にいることに自信をもつようになりました。それは、自分なりのリーダーとしてのあり方を見つけ、リーダーとしてあるべき姿を自分なりに考えることができたからです。PVづくりをした際に、チーム内で意見の衝突がたくさんありました。その上、普段の授業とは違い、前に立って物事を整理してくれる先生もいないため、意見が出てもそれを上手にまとめることができず、話し合いがスムーズに進みませんでした。でも、私は「そのようなときにチームを上手くまとめることができる人こそリーダーだ」と思い、「一度、考えを整理しよう。」と声をかけました。そして、みんなで試行錯誤し、1つの考えにまとめることができました。みんなが納得できるPVを作ったことは、立派なリーダーになるための第一歩だと感じました。

私はこのリーダー養成塾を経て、「リーダーの意味」や「リーダーとしてのあり方」を見つけることができました。数多くの立候補者の中から選んでもらい、養成塾を通してたくさんのことを学びました。この経験が無駄にしないためにも、今後は自分がすべきことを見つけて自分から動き、みんなの意見をまとめるリーダーとして活動していきたいです。

自分の弱点を克服した4日間

一色中学校

僕は、リーダー養成塾の事前研修会などで他校の生徒に対して、話しかけることができず、同じ中学校の生徒と話すことしかできませんでした。元々、僕は大事な時に一步を踏み出すことが苦手で、すごく悩んでいました。リーダー養成塾に参加するにあたって「一步を踏み出せるようになる」ということと「自分が思うリーダー像を見つける」という2つを目標にし、リーダー養成塾に臨みました。

プログラムの中で一番、自分にとってのリーダー像を探ることができた場面は、相互理解の深化です。グループワークのときに、端と端でやっていることや話していることが違っており、統率が取れていませんでした。そのとき、トヨタ白川郷自然学校のインタープリターさんに「みんながみんな話しているとまとまらないよ。」と言われました。リーダー養成塾には元々、リーダーとして学校でも活躍している人も多く参加しているため、意見が多く出て、いろいろな所で違う行動がありました。この場面から、自分から意識して一步下がることも大切だと分かりました。リーダーは信頼されていて、みんなを引っ張っている人だろうと思っていましたが、時と場合に応じて行動を変えることも大切だと思いました。これで、1つ目の目標の「自分が思うリーダー像を見つける」が達成でき、「信頼されて引っ張っている人」から「時と場合に応じて行動を変え、周りを生かし、何事にも一生懸命な人」というものに自分の中で変化しました。

もう1つの目標である「一步を踏み出せるようになる」が達成できたと実感できた場面は最終日の塾生代表お礼の言葉を決めるときです。僕は大量の人の前で話すと思うと不安になり、手を挙げられないことが多かったです。でもこのときは、勇気を出して手を挙げることができました。これは、自分と向き合う振り返りのプログラムが大きく影響しています。そのプログラムで、仲間は周りの目を気にせず、思ったことを自信をもって言っていました。この仲間に感化され、僕も勇気を出してやってみようと思いました。結果として、代表になることはできませんでしたが、手を挙げなかったときとは違い、清々しかったです。

リーダー養成塾の合宿は、僕にとってとても良い経験になりました。リーダー養成塾という貴重な体験を生かして、自分が求めるリーダー像に近づいていきたいです。

リーダーとして

一色中学校

僕はリーダーとしていろいろなことを学べたと思います。初めて、他の中学校の生徒の人たちと生活していくということで本当に不安ばかりでしたが、日にちが近づいてくるにつれて、わくわくする気持ちと不安で心配な気持ちの両方がありました。

一番印象に残ったプログラムはナイトハイクです。夜の森ということで、始めは、怖くてあまり周りが見えない状況でしたが、スタッフの方や先生が教えてくださり、とても安心しながら学習できました。夜の森で、静かなときを過ごしてどんな音が聞こえ、どんな心地がするのかなどいろいろな体験ができました。実際に雪に触れることで、日常生活では味わうことのできない良い経験になりました。たくさんの友達ができ、話すことができて楽しかったです。テーブルマナーでは自分が知らないことをたくさん知ることができて、今後のディナーでも美味しくマナーを守って食べます。

そして、一番リーダーとして学んだのは、PV づくりのときです。僕たち「食」のチームのみんなで1つのPVを作ることを目標に一つ一つ話し合っていました、どうしても大きな壁にぶつかりました。僕は、他の班と違った特徴的なPVを作りたいという強い思いがあり、アニメーションに挑戦することを提案しました。しかしアニメーションに挑戦する班は、リーダー養成塾の中で今までなかったようで、いろいろと取り組んでみたものの、制作時間が足りないという課題に直面しました。そこで、自分の意見と仲間の意見を聞き合って決めたのがデジタル紙芝居で、僕たちが声を吹き込んで作成することにしました。このように、自分の意見ばかりを主張するのではなく、他の人の意見も聞いて、そのときのベストな選択をしないといけないということを学びました。

これから、日々リーダーとして、精進していきたいと思います。仲間からリーダーとして信頼されるような人になりたいです。

これからの自分

一色中学校

この4日間、リーダーとして様々なことを学んでいく中で、特に印象的な3つのプログラムがありました。

1つ目は、プログラム③の森の生き物たちの知恵を学ぶガイドウォークです。そこでは、森の厳しい寒さや暑さにも耐え生きていく生き物たちの知恵や個性を学ぶことができました。例えば、1年中葉をつけ、こつこつと種を落として仲間を増やしていく木もあれば、夏に一気にそれを行う木もあり、その木なりの考え抜いた生き方があったと分かりました。このことはリーダーとしても役立つことで、クラスメイトの一人一人の個性を尊重したり、自分だけの個性で、みんなのことをまとめたりすることが大切なんだと思いました。

2つ目はプログラム④のイグルー作りです。初めてのイグルー作りは、大人数のまとめ方や、それぞれ役割をしっかりと分担して行うことの大切さを学びました。さらにレベルを上げ、リーダーとして過ごすには、自分の役割とさらに周りを見て困っている人がいないかを考えながら過ごすことが大切だと感じました。このプログラムで、29人の絆が深まり、信頼関係が築けたと思います。

そして3つ目はプログラム⑥から⑨のPVづくりです。ここではまず、絵コンテ作りでつまずきました。チームのメンバーと試行錯誤を重ね、何度もチェックを受けました。そこで、どうすると見た人を惹きつけられるか、佐久島に本当に行こうと思えるかをよく考えながら作りました。やっとの思いで審査を終え、さっそく小道具や役を決めていくとき、小道具作りには積極的に取り組みましたが、役を自分から率先して行うことができませんでした。これからリーダーとして過ごしていくには、みんながすすんでやらないことにも積極的に取り組んでいかなければなりません。これから気をつけていきます。完成したPVはランキングに入りませんでした。みんなが納得のいくものに仕上げることでよかったです。

このリーダー養成塾で学んだことは学生生活に限らず役立つことばかりでした。学んだことをみんなに発信し、輝いていけるよう頑張っていきます。

3泊4日の宝物

一色中学校

私は今回このリーダー養成塾で本当にたくさんのことを学ぶことができました。ま
とめて指示をしてくれる子や、話しかけてくれる子、私が困っているときや不安なと
き、失敗してしまったときに助けてくれる子、優しく声をかけてくれる子、場を盛り
上げてくれる子、気配りができる子がたくさんいて、私もそうなりたいと思いまし
た。S t a n d u pはいろいろな視点から考えて視野を広げること、だめだったら
方法を変えないといけないことがわかりました。灯りがない中のナイトハイクや雪の
中のガイドウォークで森の生き物の知恵なども教えてもらえて、たくさんの知識が身
につき、貴重な体験を味わうことができました。イグルー作りは「一緒にやろ。」と
声をかけてくれる子がいて嬉しかったです。仲間との絆も深まり、お互いの信頼感も
生まれてきたことを感じました。PVづくりは、自分の意見を押し通すのではなく自
分とは少し違う意見も受け入れることを学びました。私たちのチームは意見を出しな
がら仲良く楽しく明るい雰囲気での活動ができました。失敗して一からになったこと
もありましたが、ネガティブに考えずに全員で声かけをしながら前向きに頑張ることが
できました。たくさんの子と話ができてとても楽しい思い出になりました。

これからは、周りを見て困っている人には声をかけて助けられるような人になりた
いです。初めての貴重な体験がたくさんできて本当によかったです。最高の仲間たち
と学べた3泊4日は一生の宝物です。失敗してしまうこともたまにありましたが、楽
しかったこと、学べたことの方がたくさんありました。失敗してしまっても仲間のお
かげで次は頑張ろうと思うことができました。失敗してしまっても、次どうしたら失
敗しないかを考えて工夫することが大切だと感じました。周りを見ると、全体で使
した荷物を持ってあげている子やみんなの消しかすを集める子がいて、自分のため
ではなく、周りの人のために動く子がたくさんいて、自分以外の人のために気を配る気
遣いの大切さに気付きました。これからもっとリーダーとしての質を高められるよ
う、日常生活を大切にしたいです。そして、スローガンである「深めよう交流の輪
高めようリーダーの質 一歩を踏み出し未来へはばたけ！」を胸にいろいろな場所で
活躍したいです。

支えられるリーダー

吉良中学校

僕は、他校のリーダーとの交流を通して自分の理想のリーダー像を明確にすることを目標にして、このリーダー養成塾に参加しました。この4日間を通して自分にとってのリーダーとは、「たくさんの人に支えられる人」だと考えるようになりました。

プログラムに参加していると、仲間たちとアイデアを出し合いながら班としての行動に移していく場面が多くありました。たくさんの個性的な仲間が集まることで、意見の幅が広がり、活動がどんどん楽しくなりました。1つの目標に全員で向かって行く楽しさや、それが達成できたときの喜びを味わうことができました。特に、イグルー作りやPVづくりの場面では、絶対に自分一人では考えつかないようなアイデアが仲間から出てきました。仲間と相談したり力を合わせたりすることで、うまく進めることができたので、そういった人たちに支えられて、リーダーは成り立っているのだとわかりました。

一方で、PVの絵コンテ作りでは、魅力をどのように伝えるか、たくさんのアイデアが出てきました。しかし、なかなか1つにまとまらず、話し合いは停滞し、全員で悩む場面がありました。自分の心の中では、意見はありましたが、なかなか言い出すことができませんでした。しかし、勇気を振り絞って「グリーンバックを使って写真を後ろに映せばいいんじゃないかな。」とみんなに自分の考えを伝えると、停滞していた話し合いがまた進み始め、絵コンテの完成につながりました。その時に、迷わずに1歩踏み出すことの大切さに気づきました。たくさんの方の意見やアイデアに支えられながら、全体をよりよい方向へと導いていくのがリーダーにとって大事なことなのだと考えるようになりました。

このリーダー養成塾の4日間、他校のリーダーたちと話し合い、一緒に楽しんだことで、「たくさんの人に支えられる人」という自分自身の理想のリーダーの姿を見つけることができました。また、壮大な自然の中で行なったプログラムや仲間と協力し合って一つの物を作り上げたことは、とてもよい経験になりました。この経験を生かし、これからの中学校生活でもっと自分の理想のリーダー像を追求していきたいです。

広い視野を持ちながら、自分を客観視する

吉良中学校

僕は学校生活の中で、学級会の進行や、クラス、学年をまとめることが苦手でした。だから今回のリーダー養成塾で「みんなから信頼されて、みんなを引っ張っていただけるリーダーになるために必要なことは何か」を見つめたくて参加しました。そして、違う中学校の仲間と西尾ではありえない自然環境の中での活動を通して、それは、「しっかりと自分の思い、考えを語り、広い視野を持ちながら、自分の行動、言動を客観視することが大切」だとわかりました。

それを特に痛感したプログラムが2つあります。1つ目は、1日目の「相互理解の深化」の全員が一斉に立つスタンドアップです。スタンドアップは、人数が多くなればなるほど難しくなっていました。一部の人が自分の意見をいくつも言っていたので、僕は意見を言わなくてもいつか立てると思い意見を言わず、言われたことをするだけでした。しかし、なかなか立てず、インタープリターさんから「今は意見を好き勝手に言ってしまっている。できないなら作戦を変えなければならない。」と話がありました。それからは、僕や今まで言わなかった人も、一人一人が考えていた意見を1つずつ言うようになり、今までより立てる人数が増えていきました。そして、やっと立てました。自分の思いや考えを言わなくても変わらないと思い言わないのではなく、まずは言ってみんなで共有してから改善していくことが大切だと痛感しました。2つ目は、2日目の「グループの力を引き出すアクティビティ」のイグルー作りです。僕は、一定の仕事をせず人手の足りない仕事を探し、常に動くようにしました。なぜなら、自分たちの状況を広い視野で見て、何をすれば早く終わらせられるかを考えて行動することが大切だと思ったからです。するとイグルーは、早く綺麗にできました。PVづくりも同じです。どんなPVを作れば、見る人が面白いと感じるものになるのかを考えたり、僕の頭に思い浮かんだ言葉、行動は、チームの人にとって嬉しいものかを考えて話し合いをしたりしました。そして、3位に入賞しました。

そして最も大切だと思ったことがあります。それはリーダーには一定の完成形がないということです。だからこそ、これからは今回学んだことを活かしながら、自分に自信を持ち、日々進歩していきたいです。

リーダーに必要なコミュニケーションの力

吉良中学校

私は、人と会話を続けたり自分の意見をはっきりと相手に伝えたりすることがあまり得意ではありませんでした。だからリーダー養成塾では、「コミュニケーションの力」をつけることを目標にして臨みました。事前研修会では、自分のことを話すチャンスがいっぱいありましたが、何を話そうか考えている間に他の人が話し始めてしまう、そんな事も多くありました。しかし、スローガンにある勇気を出して一歩踏み出す事で、他の学校の子たちとも関係ができ、無事リーダー養成塾本番を迎える事が出来ました。

自然学校のプログラムでは、PVづくりが特に印象に残っています。私のグループは、3人グループでの活動になってしまったときもありましたが、事前に撮影した写真を活用し、グループ内で意見を出し合い、どちらが良いかを実際に見比べたりしながら、納得のいくPVを作ることができました。そこで私が気づいたことは、気を遣う事は、よい事だけれど、無駄な気遣いはない方がよいという事です。「みんなを引っ張っていくためには、必ず必要だから、気遣いをしなければ。」と始めは思っていました。しかし、PVづくりでは、自分の意見を伝えることに躊躇する気持ちは一切ありませんでした。それは、このグループのメンバーであれば、綺麗な文章で伝えなくても私の思いを必ず受け止めてくれるという安心感があったからこそだと思います。私がこれまで上手くコミュニケーションが取れなかったのは、勇気を出して一歩踏み出すことができていなかったからだと分かりました。周りには私の話を聴いて受け止めてくれる人がたくさんいます。だからこそ、思い切って自分の思いを伝えて、本当の意味での信頼関係を築いていきたいです。

リーダー養成塾では、たくさん悩むことがありました。けれど、それ以上に自分の自信につながる貴重な経験もたくさんできました。ここで学んだ、リーダーに必要なコミュニケーションの力を今後の生活に生かしていきたいです。周りの人を笑顔にできる言葉のレパートリーを増やすなど、今後も仲間と共に精一杯学んでいきます。そして、近い将来には、リーダーとして、先行き不透明な時代を引っ張っていけるように日々がんばっていききたいです。

リーダーに大切なことは、仲間から学ぶ

吉良中学校

私はリーダー養成塾に2つの思いをもって臨みました。1つはリーダーとはどうあるべきか、何を心がけることが大切なのかを学びたい、もう1つは他の中学校から参加する子たちがもっている良さを発見し、自分に生かしたいという思いです。事前研修会では、互いの学校のことを話したりPVづくりの相談をしたりしたことで、当日がとても楽しみになりました。

最初の特別プログラムでは、リーダーとして大切なことは「相手のことを気遣うだけでは、周りから信頼されるリーダーにはなれない」ということ、「リーダーには心、力、姿が必要だ」ということを教えていただきとても心に残っています。実際、私の学校で考えてみると、リーダーとして活躍している子たちに当てはまっていると気づきました。もう1つ教えていただいた「リーダーはみんなの笑顔を優先する」。これは、すぐにでも実行していきたいと思います。

PVづくりでは、自分から積極的に考えや意見を言うことができました。しかし、セリフや撮影方法など細かなことを話し合っていく場面では、私が意見を言いすぎてしまい、グループの子たちが意見をあまり言えなかったのではないかと心配になることがありました。出来上がったPVを鑑賞すると、満足した納得の笑顔が多く見られ、よい作品を仲間と作り上げることができたと安心することができました。また、意見を出し合っていくことで考えがブラッシュアップされ、さらによりよいものを作り上げていけるのではないかという考えをもつこともできました。

私がこのリーダー養成塾で学んだことはプログラムの内容だけではありません。プログラム終了後の片付けで全員分の消しカスを率先して集めている仲間、「8時に部屋出るよ。」「荷物まとめておいてね。」など声をかけてくれる部屋長、足を怪我している子のペースに合わせてゆっくり階段を上がっている仲間など、周りのことを考えて行動するすばらしさを、共に頑張っている仲間が私に教えてくれました。

私はこれからも学校などでリーダーとして活動していきたいです。ただ、それは必ずしも簡単なことだとは限りません。リーダー養成塾で学んだ「みんなの笑顔を優先する」ためには何が必要かを考え、自ら行動できるようにしていきたいです。

4日間で学んだこと

幡豆中学校

僕はリーダー養成塾に行く前には、みんな知らない人ばかりで仲良くすることができると少し不安でした。しかし、他校の人たちは、自分から積極的に話しかけてくれて、僕もそのようになりたいと思いました。実行委員会を通して新しくできた仲間とともに「トヨタ白川郷自然学校」で、僕は理想のリーダー像を見つけることを目標として4日間を過ごしました。

理想のリーダー像を見つけるにあたって、特に印象深いプログラムの1つがPVづくりです。まずはじめに、僕たちのチームは西尾の自然について話し合いました。その中で意見が対立してしまうこともあったけれど、仲間と意見をまとめて、海の美しさを表すPVを作ることに決めました。絵コンテ作りでは「占い師を出したらどうだろうか。」や「海から半魚人を出したらいいんじゃない。」など意見をたくさん出し合い、撮影の動きやどのような映像にするかを決定していきました。次は、小道具づくりです。小道具は仲間と協力して役割を分担し、効率よく作ることができました。作るときには「これどうしたらいい。」と、たくさん相談をしながら取り組みました。PV撮影も、どこから撮ったら声が入るかを話し合い、カメラの位置を決めました。その結果、僕たちの作ったPVは3位になることができました。この活動は、自分一人ではできなかったことで、僕にとって改めて仲間の大切さを感じる機会になりました。

2つ目はガイドウォークです。森には1つ1つ違う木や生き物がいました。それぞれいろいろな特徴がありながらともに生きていることを感じ、僕も周りを尊重し、多様性をしっかり受け入れることが大切だと感じました。

リーダー養成塾の4日間で、リーダーとして大切なことは何かがあった気がしました。それは自分の強みや弱みをよく知り、自分だけでなく全体の成長や成功を目標とし、何より他者の笑顔を願いながら行動できることが大切だと思いました。リーダー養成塾で学んだことを生かし、理想のリーダーに近づけるように、これからもがんばっていきたいと思います。

私が変わったきっかけ

幡豆中学校

私はリーダー養成塾に参加するにあたって「積極的に自分の意見を言い、コミュニケーション能力を高めること」を課題としました。今までの私は、事前に準備した内容は自信をもって発表することができますが、とっさに意見を求められた場合は相手がどう思うかを考えすぎてしまい、積極的に発言ができませんでした。また、初めて会う人に対しても、自分から声をかけてコミュニケーションをとることが苦手でした。

そんな私が変わるきっかけになったのは、4日間一緒に過ごした他の中学校の仲間でした。「がんばろうね。」「一緒にやろう。」と声をかけてくれたことが私にとって励ましの言葉となり、自分もがんばろうと思いました。他の中学校の仲間との関わりを通して少しずつ自分を変えていける、と感じました。

その中で特にがんばったプログラムがイグルー作りです。このプログラムでは、2つのグループに分かれて行いました。協力する作業が多く、今までの私にとってはすごく苦手な作業だと思っていました。でも、課題を達成するためにも、近くの子に「一緒にやろう。」と声をかけてみました。その子は笑顔で「いいよ。」と返してくれて、とても嬉しかったです。みんなで協力して想像よりも大きなイグルーを完成させることができました。ずっと声をかけられる側だったのが、かける側になり、このプログラムで自分の課題達成に向けて一歩進めた気がしました。私も仲間のようにになりたい、その思いが声をかける勇気につながったのだと思います。

今回のリーダー養成塾を通して、私の中での「リーダー」というものの見方が変わりました。リーダーとは、前に立ってみんなを引っ張っていく存在ではなく、周りを見ながら相手の笑顔を考えて行動する存在なのだと気づかされました。他のリーダーと関わることで、自分にはなかった仲間の長所を見つけることができ、初めての体験を通して協力してできたことへの達成感を味わうことができました。これからも、自分が理想とするリーダー像に向かう道のりとして、みんなが笑顔で過ごすために、何が大切なのかを日々考え、行動していきたいと思います。

私が目指すリーダーの姿

佐久島しおさい学校

私は理想のリーダー像を見つけるために参加しました。4日間の体験を通して、信頼し合って活動すると課題解決につながることを知ることができました。最初に稲垣教育長から、「リーダーは心、力、姿で表す。それが信望につながる。」という話を聞き、印象に残りました。これが私の目指すリーダー像のヒントになるのではないかと思います、それを確信に変えるための4日間にしようと心がけました。

特に、2日目のイグルー作りで、この言葉を体現するときがありました。それぞれ役割分担をして、上手くいく方法を模索しながら作り上げました。その中でいちばんよいなと思ったのは、人の意見を尊重することです。もちろんお互いの意見が違うことはたくさんあります。しかし、相手の意見も聞き入れたうえで自分の意見も伝えることで、お互いのことを尊重し合うことができました。

3日目に行った「PVづくり」のプログラムも考えさせられる場面がありました。私は、「佐久島」のことについてまとめることにしました。ここでも役割分担をして、時間内によりよいものを作り上げることを目標にして取り組みました。PVづくりで感じたことは2つあります。1つ目は、意見交換についてです。話し合っているときに、4人の中で意見が分かれることがありました。どうにか違う意見も尊重して取り入れたい気持ちがありましたが、時間の都合や動画の流れでどうしてもおかしくなってしまうなどの理由で意見が飛ばされてしまうことがありました。反省点だと思うと共に、今後チームで取り組む活動をするときには、少数の意見も取り入れる方法を常に考えていきたいと強く思いました。2つ目は個性についてです。私のチームは4人がそれぞれよい所をもっていて、それを大いに生かしました。絵が上手、編集のスピードが速いなどチームの1人でも欠けていたら今回のPVは完成しませんでした。その人のよい所に目を向けて、それを引き出せば、よりよいものができることをこのメンバーだからこそ知ることができました。

私はこのリーダー養成塾で理想のリーダー像を見つけられるか心配でした。しかし、自分でも成長できたと感じることができた4日間となりました。イグルー作りやPV作成などを通して、この仲間からしか得られないものがありました。これからも自分の心や力や姿から「信望」を得て、学校をよりよくしていけるリーダーを目指します。

[illegible]

